

農林漁業のうごき

京都府 No.192 令和 4 年

9年ぶりに京都で開催！
第76回全国お茶まつり
京都大会を開催



内容

- 特集 1** 農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました
～令和4年度京都府農林水産フェスティバル表彰式典～ 2～3
- 特集 2** 農林水産部 令和4年度補正予算の概要 4～5
- 特集 3** 9年ぶりに「全国お茶まつり」を京都府で開催！ 6
- 特集 4** 令和4年度農林水産祭で府内2団体が内閣総理大臣賞を受賞！ 7
- 特集 5** 京都食ビジネスプラットフォーム 専門部会の開催 7
- 特集 6** “できる”から始まる楽しい食育ムービーを制作しました！ 8
- 特集 7** 集落を越えた新しい営農体制の構築を目指して～集落連携100ha農場づくり事業の取組状況～ 8
- 特集 8** 水産流通適正化制度の開始 9
- 特集 9** 豊かな森を育てる府民税を活用した事業の評価結果 9
- トピックス** 京都府立林業大学校創立10周年記念式典を開催 / スマート技術を組み合わせたほ場整備を実施 /
5年に1度の全国和牛能力共進会で京都産和牛が健闘！ /
3年ぶりに「京都府農林水産フェスティバル2022」を開催 /
留学生を対象に北山杉・北山丸太の魅力を発信！ /
京のひまわり応援キャンペーンを開催しました！ 10～11
- シリーズ** 農林水産技術センターの研究紹介 第16回 生物資源研究センター / 森林技術センター 12
- 地域の取組** 京おくらの産地化を目指して / 3年ぶりに対面でキッズ茶ムリエ検定を開催！ /
次世代農業経営者育成研修を開催 / 地域ぐるみで取り組む野生鳥獣被害対策を支援！ /
「第6回森の京都ジビエフェア」を開催 /
『食の京都』丹後の生産者と実需者を繋ぐ産地交流・商談会～京都府北部で初めて開催！～ 13～15
- シリーズ** 学び舎へようこそ！ 第3回 海の民学舎 16


 特集
1

農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀 ～令和4年度 京都府農林水

令和4年11月26日(土)、京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて、京都府農林水産フェスティバル表彰式典を開催しました。この中で、多年にわたり、府内の農林水産業及び農山漁村の振興と発展に功労のあった方々や、農林水産業の経営改善や農山漁村地域の活性化に意欲的に取り組み、地域の担い手として期待される方々に表彰を行いました。また、同時に、農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産技能に優れた方々を農・山・海の「匠」として認定しました。

❖ 農林水産業功労者表彰 ❖

(敬称略)

経営改善に取り組み、他の模範となり農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

宇野 貞夫／京丹後市	岡井 温宣／久御山町	奥村 芳治／八幡市
北尾 吉太郎／京都市	小林 茂／長岡京市	清水 達夫／向日市
霜尾 喜三／舞鶴市	十川 茂一／城陽市	辻井 永雄／京都市
寺内 一郎／久御山町	中面 信市郎／京丹波町	葉田 吉彦／亀岡市
菱田 光紀／亀岡市	溝口 喜順／宮津市	宮尾 敏治／京丹後市
森 一生／南丹市	森田 秀子／長岡京市	山本 夏江／与謝野町
吉岡 勝己／宇治市	志賀郷北部農産株式会社／綾部市	

新品種開発・新事業開拓に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

井上 雄二／京丹後市	佐藤 久勝／京都市	土井 孝／福知山市
山本 信昭／長岡京市	株式会社ART CUBE／京丹波町	

女性の地位向上のための活動に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

長濱 裕子／京丹後市

団体の役員として団体の発展や、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

芦田 廣／福知山市	久保 隆司／城陽市	迫沼 満壽／綾部市
三間 恭二／京都市	高見 裕昭／福知山市	田中 俊夫／京都市
波瀬 孝澄／京丹波町	牧 克昌／京都市	森田 治秀／城陽市
湊とり貝組合／京丹後市		

農山漁村における地域資源を活用した活動に取り組み、農山漁村の活性化に顕著な貢献をした方々

軽尾 孝／京丹波町	矢野 鈴枝／京丹後市	宇治田原茶業青年会／宇治田原町
JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会／綾部市	丹後曳縄会／宮津市	半田宮農株式会社／福知山市
舞鶴湾 かき小屋 美味星／舞鶴市	水尾特産品加工組合／京都市	

農政課 総務係 TEL：075-414-4947

技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました 産フェスティバル表彰式典～

❖ 農山漁村伝承優秀技能認定 ❖

(敬称略)

農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産技能に優れた方々

【農の匠】

田口 義藏／京都市 樋口 義明／京都市
三宅 要／木津川市 山口 宏和／舞鶴市
湯浅 洋次／南丹市

【山の匠】

尾島 四郎／京都市

【海の匠】

福島 康廣／舞鶴市

農産課 農業応援伴走支援係
TEL : 075-414-4957

❖ 若手農林漁業者表彰 ❖

(敬称略)

農林水産業の経営改善等に取り組み、地域の担い手として期待される方々

青山 大芽／宇治市
大江 陽介／京丹後市
児島 ひかる／南丹市
白波瀬 亜弓／綾部市
田窪 絵里子／亀岡市
西崎 充洋／京丹後市
古川 真章・直美／城陽市

秋元 翔／宮津市
長村 善和／八幡市
佐伯 農生／京都市
杉山 牧／京丹波町
戸田 洋信・彩香／与謝野町
畑 広大／和束町
山下 新貴／京田辺市

稲垣 望／和束町
桂 光毅／亀岡市
清水 拓馬／向日市
高橋 孝明・恵美／綾部市
戸田 康裕／亀岡市
藤田 治之／宇治田原町

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL : 075-414-4912

受賞者からひとこと

農林水産業功労者表彰 JA京都にのくに 代表理事組合長 迫沼 満壽 様

この度は、栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。この栄誉をいただきましたのも、これまで先人が培ってきたJA運動の成果と感謝しております。

今後とも地域農業の振興に向け農業生産の拡大、販売力の強化を進めるとともに、食の安全・安心の確保に向けた国消国産、地産地消運動による地域農業への理解醸成に取り組んでまいります。



受賞者からひとこと

若手農林漁業者表彰 山下 新貴 様

この度は、名誉ある賞をいただきまして誠にありがとうございます。これもひとえに、京都府並びに京田辺市、JA京都やましろ等の関係者様の御指導と御支援の賜物と心より感謝しております。

今後は、今まで以上に深く農業と向き合い、知識や技術を高めて、地域の発展に貢献できる人材になれるよう、一層精進してまいります。



特集
2

農林水産部 令和4年度補正予算の概要

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化に加え、国際情勢に伴う原油価格や物価の高騰により、厳しい経営状況にある農林水産業者や食関連事業者に対して、飲食需要等の喚起や京都府産農林水産物の需要回復、危機に強い生産・販売体制の確立・強化を図る緊急支援を実施するため、令和3年度2月補正予算から計5回、合計15億5,500万円の補正予算を計上しました。

また、京都府の令和4年度当初予算は、年度当初から取り組む必要のある事業に限定した骨格的予算として編成しており、令和4年度6月補正予算において、誰もが未来に夢や希望をもてる「あたたかい京都づくり」を、府民との信頼関係の下、オール京都で連携しながら進めるための予算を、その肉付け補正予算として編成し、一般会計で230億9,600万円を計上しました。農林水産分野においても、夢や希望にあふれる魅力と活力のある農林水産業や農山漁村を実現するための予算として、一般会計で17億2,700万円を計上しました。

令和3年度2月補正予算(2月28日追加提案分)

<新型コロナウイルス感染症対策>

- 京の農林水産物生産販売対策事業費(農林水産業緊急支援強化事業費)……………【1億6,000万円】
WITHコロナ・POSTコロナ社会にも対応できる危機に強い経営体制の確立・強化や、「京もの(府内産農林水産物・加工品)」の需要拡大を図るため、農林水産業者等が行う生産・販売体制の強化に繋がる取組や、食関連事業者が行う「京もの」を使用した新商品・サービスの開発等の取組を緊急的に支援
- 「京の食」プレミアムフード支援事業費(農林水産業緊急支援強化事業費)……………【5億円】
コロナ禍の危機を克服し、食品業界と生産者が協力して需要喚起を図るため、京のブランド産品等を使用した「京の食」プレミアムフード(※)の製造・販売等に係る取組を支援
※「京の食」プレミアムフード：京のブランド産品などの京都府産農林水産物を使用した弁当やミールキット等の商品と、高級宇治茶や京の酒などのブランド加工品をセットにした高級感のある限定商品

令和4年度5月補正予算

<原油・物価高騰対策>

- 飼料高騰緊急対策事業費(肥料・飼料高騰緊急対策事業費)……………【1,500万円】
安定した農業経営の実現を図るため、輸入粗飼料の低減に繋がる取組を緊急的に支援

令和4年度5月補正予算／9月補正予算(冒頭(9月12日)提案分)

<原油・物価高騰対策>

- 肥料高騰緊急対策拡充支援事業費(肥料・飼料高騰緊急対策事業費)……………【5,000万円】
安定した農業経営を実現するため、海外からの輸入に依存する化学肥料から国産有機質肥料等への転換を図る農業者を緊急的に支援

令和4年度6月補正予算(冒頭(6月10日)提案分)

<原油・物価高騰対策>

■府内産小麦等転換促進緊急対策事業費……………【5,000万円】

輸入小麦等の価格高騰により需要が高まっている府内産小麦等の安定供給体制の強化を図るため、府内産米からの転換などにより小麦等の生産拡大等に繋がる取組や、小麦等の生産に必要な機械導入・施設整備を緊急的に支援

■府内産農林水産加工食品等緊急販売促進事業費……………【6,000万円】

府内産農林水産加工食品等の販売機会の創出により需要拡大を図るため、首都圏の百貨店等での販売フェアや商談会等を実施するとともに、府内の「食の京都TABLE」等での販売促進活動を緊急的に支援

<肉付け補正>

■「京の食」ブランド総合戦略事業費……………【6,400万円】

府内産農林水産物・加工品(京もの)のブランドに新たな価値を創造・付加し、他産地との優位性を確保するため、産学公連携による新たな加工食品や流通技術の開発等を実施するとともに、「京ものブランドサプライチェーン」の構築等の取組を支援

■京都フードテック構想(仮称)検討費……………【200万円】

京都ならではのフードテックにより、府内の農林水産業や食品産業の多様な課題を解決し、京都の食関連産業のブランド力を強化するため、府域における具体的な取組を示した構想を策定

■「京の木」循環利用総合対策事業費……………【8,000万円】

林業・木材産業の振興による森林資源の循環利用を推進するため、川上から川下までの連携による府内産木材の安定した需給体制の構築や、林業事業体の木材生産力の向上を図る主伐・集積等の取組を支援

■農林水産業基盤整備事業費……………【15億8,100万円】

農林水産業のイノベーションと安心・安全な地域社会を実現するため、生産基盤の整備や、農山漁村と森林の防災・減災対策を実施

令和4年度6月補正予算(冒頭(6月10日)提案分)／9月補正予算(冒頭(9月12日)提案分)

<原油・物価高騰対策>

■宇治茶生産省エネ推進緊急対策事業費……………【3億6,000万円】

茶生産農家の経営の安定化を図るため、製茶工場の低コスト化・効率化に寄与する省エネ機器の導入を緊急的に支援

■輸入飼料価格高騰対策緊急支援事業費……………【3億4,000万円】

京の畜産応援隊の伴走支援の下、経営の強化・改善、危機に強い生産体制の確立のため、飼料の年間使用量を概ね20%以上低減する取組等を緊急的に支援

令和4年度9月補正予算(11月2日追加提案分)

<原油・物価高騰対策>

■共同生産・管理事業エネルギー価格高騰緊急対策費……………【9,000万円】

※商工労働観光部と共管

(うち農林水産部所管分2,000万円)

エネルギー価格の負担を軽減し、地域産業の運営の安定化を図るため、農業水利施設の管理等を行う団体に対し、施設管理に必要な電気料金を緊急的に支援

特集
3

9年ぶりに「全国お茶まつり」を京都府で 開催!

全国の茶業関係者が集い、お茶の生産技術の向上と消費拡大を図る「第76回全国お茶まつり京都大会」が、宇治市にて開催されました。本大会は、全国の茶生産府県が毎年持ち回りでっており、京都府での開催は9年ぶりでした。

今大会で更に広がった宇治茶ファンを核に、宇治茶の価値や魅力を国内外に広く伝えていけるよう、これからも高品質茶生産を一層進めるとともに、歴史・文化と一体的に魅力を発信していきます。

全国茶品評会

全国一のお茶を決める「全国茶品評会」が、8月23日(火)から26日(金)の4日間にわたり宇治茶会館(宇治市)で行われ、府生産者がてん茶、玉露、かぶせ茶の3部門で農林水産大臣賞を獲得するとともに、てん茶、かぶせ茶の2部門で産地賞を獲得するなど、宇治茶の生産技術の高さを全国にアピールすることができました。



20名の審査員が厳正に審査

褒賞授与式

11月19日(土)の褒賞授与式には、全国から約700名の茶業関係者が集まり、全国茶品評会入賞者ならびに産地の栄誉を称えるとともに、日本茶業の発展に向けた「大会宣言」が採択されました。



全国茶品評会・農林水産大臣賞を受賞された皆さん

宇治茶の魅力発信イベント

11月19日(土)、20日(日)には、宇治市の「お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな」をメイン会場に、地元商店街や商工・観光関係者、茶業関係者、地元の高校・大学等が協力して「宇治茶の魅力発信イベント」が開催されました。

農林水産大臣賞受賞者のトーク&呈茶イベントや宇治抹茶を使った限定スイーツの販売、品評会入賞茶の淹れ方体験、地元高校の吹奏楽部による演奏会や宇治市観光大使のアートパフォーマンス等、「お茶のまち」ならではの企画や、特産品市、宇治茶体験ウォーク等盛りだくさんの内容で、2日間で合わせて2万人を超える来場者で賑わいました。



イベントステージでは様々な企画を開催



大臣賞受賞茶の呈茶を楽しむ

特集
4

令和4年度農林水産祭で府内2団体が 内閣総理大臣賞を受賞!

令和4年度農林水産祭において、JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会（園芸部門）と南丹市の下集落支援事業委員会（むらづくり部門）が内閣総理大臣賞を受賞され、11月23日（水・祝）、明治神宮において表彰されました。

JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会

地理的表示（GI）登録や共選共販活動等によるブランド力及び販売力の強化、ハウス栽培の積極的な導入や新規就農者の育成等による産地としての生産力の強化の取組が高く評価されました。



JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会役員の写真

下集落支援事業委員会

“長寿を目指す里・下”というテーマを掲げ、集落全体で農業、食文化や伝統文化の継承、地域外ファンづくりなど集落の活性化に取り組みられている点が高く評価されました。



下集落支援事業委員会の写真

農産課 京野菜振興係 TEL：075-414-4953
農村振興課 企画管理係 TEL：075-414-5037

特集
5

京都食ビジネスプラットフォーム 専門部会の開催

京都府では、食に関する多様な事業者が消費者ニーズを捉えた新たな価値を創造し、その価値を組み合わせるオープンイノベーションの場として「京都食ビジネスプラットフォーム」を設置しており、今年度は、更に会員の交流を促し新たなプロジェクトを組成するため、中食、健康機能性、フードテックなど5つの専門部会を設置し、部会ごとに研修会やワークショップを実施しています。

事業者の新たなビジネス創出に向け、専門家の派遣や補助事業の導入などにより支援していきます。

専門部会	取組内容例
プレミアム中食	弁当、惣菜、菓子の開発
健康機能性	健康機能性を付加した食品の開発
保存・流通技術	加工技術、冷凍冷蔵保存技術を活用した消費期限延長
販路開拓・ブランディング	輸出やEC販売による販路開拓
フードテック	食に関する最先端技術を活用した商品の開発



専門部会でのワークショップの様子

流通・ブランド戦略課 食品産業振興係 TEL：075-414-4954

特集
6

“できる”から始まる楽しい食育ムービーを制作しました!

子どもたちの楽しい調理体験は、将来の生きる力や豊かな心を育みます。

宮津の漁師・本藤靖氏、宇治の料理人・左聡一郎氏、2人の食のプロ「きょうと食いく先生」が考えた子どもたちと一緒にできる、簡単で美味しいレシピを紹介する動画を制作しました。動画には、子どもと料理をする時のポイントや、美味しくなるひと手間も盛り込んでいます。また、「家庭での食育」と「学校での学び」のつながりについて、武庫川女子大学准教授・藤本勇二氏のコメントも紹介しています。

ご家庭で「楽しい食育」を“できる”ことから始めてみませんか。



宮津の漁師・本藤さんが食べてる獲れたて漁師飯レシピ



宇治の料理人・左さんが考えただしが決め手のあじわいレシピ

動画は京都府 HP からご覧いただけます。



京都府 楽しい食育

検索

農政課 食の安全・食育係 TEL : 075-414-5654

特集
7

集落を越えた新しい営農体制の構築を目指して～集落連携100ha農場づくり事業の取組状況～

府内の集落営農の多くは単一集落による水稻中心の営農を行っていますが、経営規模が小さいことから、収益力の向上が難しくなっています。

そのため京都府では昨年度から、複数集落での広域営農や水稻から高収益作物（紫ずきん、九条ねぎ等）への転換により収益力強化を図るとともに、農地管理の外部委託や企業連携による経営等のノウハウを持った人材確保を行う「集落連携100ha農場づくり事業」を実施しています。

引き続き、地域における話し合いや、省力化・収益力強化のための機械導入支援を行うとともに、関係機関による推進チーム会議や高収益作物導入に係る研修会を実施し、新たなモデル地域の形成に向けた取組を推進します。



地域の役員と関係機関による話し合いの様子（中丹地域）



高収益作物（紫ずきん）の機械収穫イメージ

経営支援・担い手育成課 地域営農推進係 TEL : 075-414-4918

特集
8

水産流通適正化制度の開始

違法に漁獲された水産物の流通を防ぐための新たな制度が令和4年12月1日から始まりました。

近年、違法にアワビ・ナマコを獲る行為、いわゆる密漁が多発しています。その防止策の一つとして、法律を守り漁獲されたアワビ・ナマコには定められた番号を付けて取引すること、その記録を3年間保存することが漁業者及び取扱事業者（売買、加工、輸出に携わる者など）に義務付けられました。

この制度の開始により、密漁が減り、漁業者が資源保護に取り組みながら安心して漁業を営むことができると期待されます。



令和4年12月からアワビとナマコに漁獲番号を付けることが義務付けられます。

水産庁作成の普及・啓発資料より抜粋

水産課 漁政企画係 TEL: 075-414-4992
水産事務所 海のにぎわい企画課 TEL: 0772-22-3288

特集
9

豊かな森を育てる府民税を活用した事業の評価結果

京都府では、豊かな森林を次代に引き継ぐため、平成28年度から「京都府豊かな森を育てる府民税」を導入し、森林の整備・保全等の取組を進めています。

令和3年度から始まった第2期では、毎年度、事業の進捗や効果を評価することとし、令和3年度事業については、外部有識者から、府による事業評価の妥当性、改善点や課題等について、全体として「事業毎の目標達成率とその分析や住民意見などを踏まえた府の事業評価は妥当」との評価をいただきました。

個別事業の成果など詳しくは、京都府HPで公開しています。



使途分野(事業費)	主な事業実績(R3年度)	
	主な指標(目標値)	実績値
I 森林の整備及び保全 (522,816千円)	○溪流における災害の未然防止(20箇所) ○再造林への補助(61ha) ○里山林の整備(60箇所)	41箇所 62ha 60箇所
II 森林資源の循環利用 (134,128千円)	○木造・木質化への支援 住宅タイプ 102件(1,383m ³) 非住宅タイプ 6件(134m ³)、ほか	
III 森林の重要性の啓発 (18,234千円)	○森林の多様な機能への府民理解の促進 (600人)	440人
計 675,178千円	(内、市町村交付金 199,985千円)	

山地災害防止対策事業(危険木の除去)



実施前



実施後

豊かな森を育てる府民税

検索

森の保全推進課 企画・計画係 TEL: 075-414-5016

トピックス

京都府立林業大学校創立10周年記念式典を開催

林業大学校では、令和4年度に創立10周年を迎え、記念式典を開催しました。

この間、地域の方々をはじめ、外部講師、森林・林業・木材産業の方々など、多くの皆様の御協力のもと、150名余りの卒業生を送り出すことができました。

式典では、実習風景や地元との関わりなど、この10年間の歩みをビデオで紹介するとともに、高性能林業機械のシミュレーター操作実習の様子などを御覧いただきました。

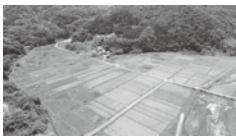
今後は、この10年間の歩みを振り返りつつ、スマート林業の推進など時代が求めるニーズにも柔軟に応え、さらに充実した林業大学校を目指していきます。



(記念式典の様子 (令和4年11月12日))

京都府立 林業大学校 TEL : 0771-84-2401

スマート技術を組み合わせたほ場整備を実施しています



(整備前)



(整備後)



<経営力強化の一例>

FOEASの導入で水田を畑地化し、京野菜の生産に成功!

少子高齢化で担い手の確保が難しくなる中、農業が将来にわたって維持されるためには、限られたマンパワーでも、産業として成り立つことが重要です。

京都府では、従来のほ場整備に、生産性や作業効率が向上する自動水管理システムや地下水制御システム(FOEAS)等のスマート技術を組み合わせた経営力強化に繋がる整備を進めています。

また、一定の要件を満たせば農家負担金を国が肩代わりする事業が創設されたことで、これまで整備が進んでこなかった地域での話し合いが活発化しており、関係機関とともに整備実現に向け支援していきます。

農村振興課 計画基盤係 TEL : 075-414-5048

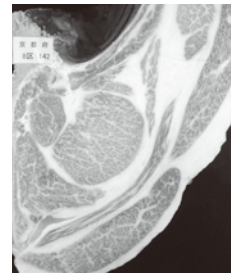
5年に1度の全国和牛能力共進会で京都産和牛が健闘!

10月6日(木)から10日(月)に鹿児島県霧島市及び南九州市で開催された第12回全国和牛能力共進会において、京都府出品牛が「肉牛の部」及び「種牛の部」でいずれも優等賞に入賞しました。

日々研鑽された生産技術が高く評価された結果であり、おいしい京都産和牛肉の生産に、ますます期待が膨らみます。



種牛の部：優等賞16席
(大江健人氏出品)



肉牛の部：優等賞16席
(平井和恵氏出品)

区分	受賞	出品者(敬称略)
肉牛の部	優等賞16席(全国16位/58頭)	平井和恵(南丹市)
	1等賞(全国30~46位の間)	西川貴大(亀岡市)
種牛の部	優等賞16席(全国16位/32頭)	大江健人(京丹後市)

畜産課 畜産振興係 TEL : 075-414-4981



3年ぶりに「京都府農林水産フェスティバル2022」を開催

コロナ禍による2年間の休止を乗り越え、11月26日（土）、27日（日）に、京都市伏見区の京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）にて、記念すべき第50回目となる京都府農林水産フェスティバルを開催しました。

約4万2千人の方々にご来場いただき、来場者からは「3年ぶりの開催を楽しみにしていた」といった感想も聞かれ、府内産農林水産物・加工品の展示・販売や生産者及び消費者との交流を通じて、農林水産業の振興と府内産品の消費拡大を図りました。



2日間とも多くのお客様で賑わいました

流通・ブランド戦略課 ブランド戦略係 TEL：075-414-4941

留学生を対象に北山杉・北山丸太の魅力を発信！



北山丸太の生産工程を学び、丸太磨きを体験する参加者

茶の湯文化や数寄屋建築を支えてきた北山杉・北山丸太について府内在住の留学生に学んでもらうため、10月29日（土）に丸太磨き等の体験会を実施しました。

参加者からは「北山林業の歴史や文化が興味深く面白い」という感想が聞かれ、歴史と伝統に培われた高度な技術で生産される北山丸太の魅力の世界に発信し、母国でのビジネスに繋げてくれることを期待します。

京都林務事務所 林務課 TEL：075-451-5724

京のひまわり応援キャンペーンを開催しました！

京都府では、若手生産者を中心に「ひまわり」の生産が拡大しています。京都府花き振興ネットワークでは、SNSを活用したキャンペーンを開催し、元アナウンサーで現フラワーアーティストの前田有紀さんによる生産現場・花き市場からの生中継やアレンジのデモンストレーション等を通じて、府内産ひまわりの魅力をPRしました。

また、生産者が面識のない花屋さんから直接声をかけられたり、府内・府外の方から沢山の応援メッセージが届いたり、Instagramのフォロワー数が増加するなど、多くの反響を得ました。

今後も前田さんの協力を得ながら、京都府産花きの情報発信をしていきます。



Instagramで発信、写真やライブ映像でひまわりの美しさを伝えました

農産課 京野菜振興係 TEL：075-414-4967

シリーズ 農林水産技術センターの研究紹介

令和4年度に取り組んでいる研究をご紹介します

第16回 生物資源研究センター・森林技術センター

研究1：スマホで、どこでも誰でも簡単！病害虫AI診断技術の開発

農作物を栽培する上で、病害虫の防除は必要な作業です。病害虫を防除する際に最も重要なことは、その種類を特定することですが、多くの種類がある病害虫を迅速に特定することはベテラン農家でも難しく、栽培上の課題の一つでした。

そこで、農林水産技術センターでは、国、他府県、大学及び民間企業と共同でAI（人工知能）を使った「病害虫画像診断技術」を開発しました。

お手持ちのスマートフォンカメラを使って対象を撮影し、診断アプリ（無料、右のQRコードでダウンロード可能）にアップロードすることで、病害虫の診断を、どこでも、誰でも素早く行うことができます。



病害虫診断アプリの画面

ダウンロード
はこちら ↓



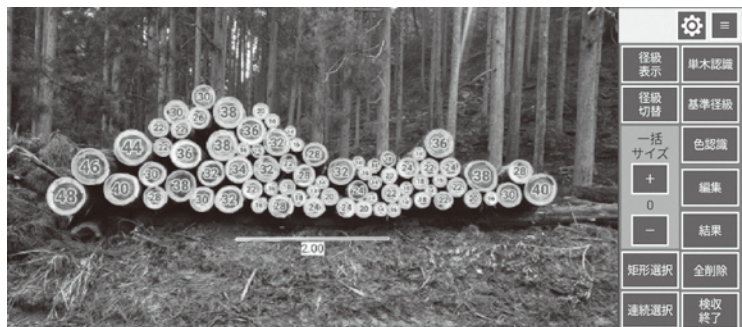
農林水産技術センター 生物資源研究センター 応用研究部 TEL：0774-93-3527

研究2：スマートフォン画像による丸太計測技術の開発と実証研究

森林技術センターでは、スマートフォンで撮影した画像から丸太の本数・径・材積を解析する「木材検収アプリ」を京都府立大学とともに開発しました。現在、府内のいくつかの林業事業体の木材生産現場で導入のための実証を行っています。

この技術によって、これまで人の手によって行ってきた丸太の計測や伝票の作成といった現場作業が軽減されます。その結果、森林から切りだされる木材流通の合理化が進むと考えられ、京都府産木材の増産につながることを期待しています。

さらに現場の意見を取り入れ、社会実装に向けたアプリの改良に取り組んでいるところです。



開発した木材検収アプリの解析画面

農林水産技術センター 農林センター 森林技術センター TEL：0771-84-0365

地域の取組

京都乙訓

京おくらの産地化を目指して

J A京都中央京おくら出荷部会では、栽培3年目を迎え、生産者が約20名、栽培面積も約60aと徐々に増え、京都市西京区、伏見区、乙訓地域と栽培エリアも拡大しています。

おくらは、6月中旬から10月末まで長期収穫が可能で、夏の暑さにも強く栽培し易いのが特徴です。

京都乙訓農業改良普及センターでは、J A京都中央と連携し、各生産者のほ場巡回、出荷目合わせや生産情報を掲載した「京おくら通信」を発行するなど、京おくらの産地化に向けて重点支援しています。また、収穫作業を省力化できる仕立て方法の現地実証にも取り組んでいます。

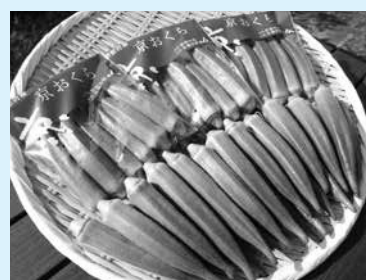
当部会の袋詰めされた京おくらは見映えが良く、市場評価も高いため、府内の量販店で人気の野菜となっています。



京おくらの
新レシピ紹介
←



京おくらの出荷目合わせの様子



袋詰めされた京おくら
【画像提供：JA京都中央】

京都乙訓農業改良普及センター TEL：075-315-2906

山城

3年ぶりに対面でキッズ茶ムリエ検定を開催！

山城広域振興局では、将来の宇治茶ファンを育てるため、茶業団体と連携して、小学3～6年生を対象に、キッズ茶ムリエ検定を平成25年度から実施しています。

コロナ禍の影響により、ここ2年はオンラインでの開催でしたが、3年ぶりに8月と11月に「お茶と宇治のまち交流館 茶づな」において対面で開催することができました。

金賞を目指し、子供たちは熱心にペーパーテストや茶香服に取り組んでいました。

また、新たな取組として「親子でおいしいお茶の淹れ方教室」を開催し、お茶に親んでもらう良い機会となりました。

参加者からは「宇治茶が大好きになった。来年も参加したい」との声が寄せられました。



親子でおいしいお茶の淹れ方にチャレンジ

山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0774-21-3212

山城

次世代農業経営者育成研修を開催

山城北・南農業改良普及センターでは、木津川市との共催で、地域の次世代を担う若手農業者を対象とした経営講座を年間5回開催し、28名の受講がありました。

ファイナンシャルプランナーや特定社会保険労務士、先進的な農業法人などの専門家が講師となり、ライフプランや営農計画の作成、労務・雇用について講義を行いました。併せて、受講者間で意見交換を行うことにより、仲間づくりと将来の農業経営について考える契機となりました。

受講生からは「企業の会計を取り入れ、経営分析を行いたい」「労務管理や雇用についても考えたい」と経営改善に向けた前向きな意見が寄せられました。

今後も若手農業者に寄り添い、更なる経営発展に向け、関係機関とともに伴走支援を行います。



熱心に受講する若手農業者の皆さん

山城広域振興局 農林商工部 山城北農業改良普及センター TEL：0774-62-8686
山城南農業改良普及センター TEL：0774-72-0237

南丹

地域ぐるみで取り組む野生鳥獣被害対策を支援！

南丹広域振興局では府及び市町関係職員で構成する「南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム」を設置し、集落ごとの被害状況診断と診断カルテの作成を行うとともに、重点集落については防護柵の補強などの実践活動を集落とチーム員の協働で実施しています。

集落からは「実践活動を通じて獣害対策への関心が高まり、住民が自ら防護柵を見て回るようになった」などの声があり、効果が現れています。

今年度はチーム員の体制を強化して被害軽減に向けた診断や獣害対策研修、実践活動に取り組んでいきます。



集落住民参加による実践活動（集落柵の改修）
（令和4年1月）

南丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0771-22-0426

南丹
中丹

「第6回森の京都ジビエフェア」を開催

令和4年11月19日(土)から令和5年2月12日(日)まで、中丹・南丹広域振興局、森の京都DMOの共催で「第6回森の京都ジビエフェア」を開催しています。中丹エリア、南丹エリア、京都市右京区京北の計38店舗が「森の恵み」のシカ肉を使った美味しいオリジナルメニューを提供しています。

高タンパク、低脂質で美味しいシカ肉を、ぜひこの機会にお楽しみください。



提供メニュー例 丹波鹿スネ肉のポトフ



提供メニュー例 鹿肉のシチュー

店舗一覧情報等は
こちら ↓



中丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL:0773-62-2593
南丹広域振興局 地域連携・振興部 企画・連携推進課 TEL:0771-24-8430
一般社団法人 森の京都地域振興社 (森の京都DMO) TEL:0771-22-9800

丹後

『食の京都』丹後の生産者と実需者を繋ぐ産地交流・商談会
～ 京都府北部で初めて開催! ～

生産者自らが食材の魅力を発信する機会が少ないことから、生産者と実需者との交流を深め、新たな販路開拓へと繋ぐ産地交流・商談会を令和4年7月に、道の駅丹後王国にて初開催しました。

生産者の熱い想いを直接感じることで、実需者にも自然と力が入り、商談会は大きな盛り上がりを見せました。生産者の皆様からは「商談に結び付き、生産に弾みがつきそう」「新たな商品開発のヒントがいただけた」などの声をいただきました。

今後も引き続き、丹後産農産物の魅力発信に向けた取組を進めていきます。



加工品商談会
の様子



生産者の話を
熱心に聞く実
需者の皆さん

丹後広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL:0772-62-4305

シリーズ 学び舎へようこそ！ ～第3回 海の民学舎～

前回に引き続き、京都府の農林水産業の担い手育成の取組についてインタビューを交えて紹介します

◆◆◆京都府漁業者育成校 海の民学舎◆◆◆

海の民学舎は、漁業者の高齢化や減少を踏まえ、漁業、漁村の活性化を図るべく、平成27年4月に開設されました。事務局は京都府水産事務所におかれ、漁業団体及び地元自治体と協働して運営しています。就業希望者が漁業者として必要な基本技術を学ぶ「新規就業者講座」と、若手・中堅漁業者が経営力を高めるための「経営力向上講座」を開催しています。

「新規就業者講座」の研修期間は2年間で、1年目は水産事務所を拠点に、漁業者や水産研究の専門家による講義・実習で基本的な知識や技術を学び、2年目は漁村に住みながら、各自の希望の漁業種類（定置網、底びき網、トリガイ養殖等）で実地研修を行います。研修修了後はそのまま就業していただくことで、地域に根差して活躍できる漁業者の育成を目指しています。1年目の研修中は、水産事務所に近い宿舍が利用できるとともに、要件を満たす方は国の支援制度の活用もできます。

「経営力向上講座」では、先進経営体や専門家を招いて、新たな漁業技術や経営手法の導入等に係る研修会や学習会を継続して開催しています。



定置網漁業実習



イワガキ養殖実習



ハンモック作成実習

在校生に「海の民学舎の良さ」を聞いてみました

「漁業に関して素人であっても、講義や実習を通して基礎的なところから、漁業就業に必要な知識や技術について学ぶことに魅力を感じ、入舎を決断した」「府内の多くの実習先を訪れることができ、その中で自分の理想とする就業先を時間をかけて検討できることが学舎の魅力」などの感想や意見がありました。

水産課 漁業漁村係 TEL：075-414-4994

参加者募集中です
きょうと
食の安心・安全フォーラム

令和5年2月7日(火) 14:00～15:30 (受付13:30～)

参加無料

- ◆ オンライン会場：ZOOMウェビナー
- ◆ 会場：京都経済センター 6-C会議室 (京都市下京区四家通室町東入西谷錦町78番地)

参加者アンケート回答者には
抽選で京の食2点セットをプレゼント

食の安心・安全フォーラム

令和5年度 農大・林大の学生募集
願書受付期間

農業大学校 一般入試(後期)
令和5年1月20日(金)～2月1日(水)
【お問い合わせ】 0773-48-0321

林業大学校 一般入試(第3回)
令和5年1月5日(木)～1月26日(木)
【お問い合わせ】 0771-84-2401

京都府の農業や林業の担い手を目指す方の応募をお待ちしています。

鳥インフルエンザ対策の徹底を！
～鶏やアヒルを飼っておられる皆様へ～

- ① 野鳥の食物源となる果樹などはなるべく近くに植えない。
- ② 鳥小屋の防鳥ネットは2cm角以下にし、適時補修する。
- ③ 飲み水は水道水を使用し、野鳥のエサ場とならないよう飼料の管理をきちんとする。
- ④ 鶏舎周囲は草刈りや舗装等をし、野鳥や野生動物が常在する環境を作らない。

お問い合わせは、最寄りの家畜保健衛生所へ

発行/令和4年12月
編集/〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町
京都府農林水産部農政課
TEL：075-414-4898 E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか。

公式ホームページ
<https://kyoto-jinken.net/imagesong/>